

# クリーン作戦を展開



ボランティア活動後、充実した表情で記念撮影に臨む参加者



▲海岸沿いをくまなく清掃した

県解体工事業協同組合（市原昭公理事長）は千葉市中央区で、恒例となっている2022年度の清掃ボランティア活動（千葉ポートパーククリーン作戦）を9日に実施した。当日は、小松隆弘前理事長も駆け付けるなど、開園前の早朝か

ら参加者約30人が集合。5班に分れて海岸沿いをくまなく清掃し、環境美化による社会貢献に努めた。

活動開始に先立ち市原理事長は、今回から新たなアイデアを盛り込んで展開する

り方に変更したことに触れ、各班が協力して取り組み、激励の言葉をかけている。

同活動に協力を求めるとともに、激励の言葉をかけている。

## 千葉ポートパークの清掃

市原理事長(右)に清掃活動の意義などを引継ぐ小松前理事長



どから、今年度は6人ずつの5班に分かれた上で、各班が可燃ごみ・不燃ごみ・缶類・瓶類・ペットボトルの5種それぞれを専門に回収する内容に改めている。

参加した組合員企業は次の通り（順不同）。

- ▽大同産業▽真工業▽三勢▽小見解体▽ハマタ▽水間建設工業▽山田建設▽イケタ▽米山興業▽小松土建▽大葉開発▽ナイキ▽柴田組▽丸徳興業▽石井興業▽シンコー▽猪野興業▽稲葉商店▽協和企業▽裕木工業▽海成▽カンナ▽富澤商店▽杉森興業▽村上建設▽スマート▽大進工業▽竹内建設▽島村商会

市原理事長(右)に清掃活動の意義などを引継ぐ小松前理事長